

Keystone® Storage-as-a-Serviceサービス説明

1. 全般

本サービス説明では、エンドユーザがKeystone STaaS利用規約に基づいて利用できるオンプレミス型とハイブリッド クラウド型の従量制STaaSサービスを説明する。なお、Keystone STaaS利用規約は本サービス説明に組み込まれている。本サービス説明は、対応するサービス説明書も参照により組み込んでいる。

1.1 用語定義 :

本サービス説明で特に定義されていない大文字で始まる用語の意味は、Keystone STaaS利用規約での意味と同一とする。さらに、本サービス説明には以下の定義が適用される。

- a) 「**STaaS追加サービス**」とは、セクション3でさらに詳述されているとおり、追加の料金、規約、および可用性が適用されることを条件として、STaaSサービスの一部として利用可能なオプションまたは必須のサービスのことをいう。
- b) 「**AFX**」とは、NetAppの分散型ストレージ プラットフォームのことをいう。
- c) 「**AFXクラスタ**」とは、同一のAFXストレージ ネットワークに接続されたAFXストレージ コントローラとAFXストレージ シェルフの集合体のことをいう。
- d) 「**バースト時の容量の上限**」とは、セクション2.2(c)(i)でさらに詳述されているとおり、パフォーマンス サービス レベル インスタンス、またはAFXクラスタ、または注文ごとのコミット済み容量を超える使用可能容量のことをいう。
- e) 「**バースト無課金期間**」とは、セクション2.2(c)(iii)でさらに詳述されているとおり、バースト時の容量の使用量が計測および報告されるが、課金対象にはならない、開始日からの日数のことをいう。
- f) 「**CVO**」とは、NetAppのCloud Volumes ONTAP®ソフトウェアのことをいう。
- g) 「**混合**」とは、STaaS製品と非STaaS製品を同一のONTAPクラスタまたはStorageGRID®グリッドに組み入れることをいう。
- h) 「**Data Infrastructure Insights**」とは、<https://docs.netapp.com/us-en/data-infrastructure-insights/>に記載されているとおり、ハイブリッドなマルチクラウド インフラのモニタリング、分析、分析情報、および最適化用ツールのことをいう。
- i) 「**データストレージ タイプ (DST)**」とは、次のデータストレージ方法のいずれかのことをいう：ユニファイド（ファイル、ブロック、S3オブジェクト）、ブロック向けに最適化済み、オブジェクト、またはAFX。
- j) 「**実効容量**」とは、使用可能な物理容量にデータ効率係数（1以上）を乗じた値と等しいストレージ容量のことをいう。
- k) 「**ハイブリッド クラウド サービス**」とは、オンプレミス型サービス、およびオンプレミス型サービスの費用をCVOに再割り当てることができる、単一の同時終了する注文で発注され、Keystoneの請求で課金されるオプションのCVOのことをいう。
- l) 「**IOPS**」とは、1秒当たりの入出力操作のことをいう。
- m) 「**論理容量**」とは、ストレージ アレイのデータを効率化する前に、エンドユーザのデータを保存するために必要なストレージ容量のことをいう。
- n) 「**オンプレミス型サービス**」とは、エンドユーザの拠点に導入されたSTaaS製品を通じて提供されるKeystone STaaSのことである。
- o) 「**パフォーマンス サービス レベル (PSL)**」とは、セクション2.3(a)で定義されている、任意のデータストレージ タイプのパフォーマンス サービス レベルのいずれか1つのことをいう。
- p) 「**パフォーマンス サービス レベル インスタンス (PSLI)**」とは、ユニファイド ストレージ タイプもしくはブロック向けに最適化されたストレージ タイプの任意のパフォーマンス サービス レベルの1つのストレージ アレイ、またはAFXデータストレージ タイプの任意のパフォーマンス サービス レベルの1つのストレージ コントローラのことをいう。
- q) 「**物理容量**」とは、物理メディア ブロックの数量およびサイズに基づくデータストレージ容量のことをいう。
- r) 「**プロビジョニング済み容量**」とは、使用するために割り当て済みの物理容量または論理容量のことをいう（厚いか薄いかは問わない）。
- s) 「**セキュアな拠点**」とは、測定、監視、またはサポートのためのインターネット アクセスの提供、または監視ツールのインストールもしくは有効化が制限されているか不可能であるエンドユーザの拠点のことをいう。

- t) 「サービス レベル」とは、セクション2.3に記載されているサービス レベルのいずれかのことをいう。
- u) 「開始日」の意味は、セクション4.3に記載のとおりとする。
- v) 「サービス レベル アグリーメント（SLA）」とは、サービス レベル目標を達成するために提供する保障のことをいう。
- w) 「サービス レベル目標（SLO）」とは、パフォーマンス指標の目標の定量化および提供に関する目標のことをいう。
- x) 「ストレージ アレイ」とは、2つのストレージ コントローラ（「H/Aペア」）と専用の内蔵ストレージ メディアもしくは外付けストレージ メディアまたはその両方で構成されるデータ ストレージ デバイスのことをいう。
- y) 「開始目標日」とは、エンドユーザがSTaaSサービスの開始を目指している日のことをいう。
- z) 「使用可能容量」とは、エンドユーザのデータを保存するために利用できる物理容量または論理容量のことをいう。

1.2 パートナー

本サービス説明に記載されているSTaaSサービスは、NetAppまたはNetAppパートナーがエンドユーザに提供することがある。また、パートナーは、本サービス説明に基づいてNetAppの責務の一部を担うこともある。

2. STaaS機能およびSTaaSサービス

2.1 データストレージ タイプ

- a) **ユニファイド**：NetApp ONTAP AFFプラットフォームもしくはNetApp ONTAP FASプラットフォームのストレージ アレイ上で提供される。
- b) **ロック向けに最適化済み**：NetApp ONTAP ASAプラットフォームのストレージ アレイ上で提供される。
- c) **オブジェクト**：NetApp StorageGRIDプラットフォームのストレージアレイ上で提供される。
- d) **AFX**：NetApp AFXクラスタ上で提供される。

2.2 容量

a) **コミット済み容量**

- i. STaaSサービスを使用するには、セクション2.3(a)で定めるとおり、最小のコミット済み容量と容量の増量単位に従うことを条件として、ユニファイド、ロック向けに最適化済みPSLI、AFXクラスタ、または注文ごとの、特定のコミット済み容量のサブスクリプションが必要である。

b) **消費容量**

i. **データストレージ タイプ：ユニファイドまたはロック向けに最適化済み。**

- **論理容量の測定**：消費容量は、すべてのインスタンスおよびすべてのタイプのエンドユーザ データ（例：コピー、ミラーされたコピー、バージョン、クローン）を保存するために使用されている測定対象である論理容量（すなわち、ストレージ アレイのデータ効率化前の論理容量）に、メタデータおよびSnapshot™のコピーと特定のクローンのさまざまなデータを保存するために使用されている物理容量と、厚くプロビジョニングされた物理容量を加えた量として、PSLIごとに計算される。
- **物理容量の測定**：消費容量は、すべてのインスタンスおよびすべてのタイプのエンドユーザ データ（例：コピー、ミラーされたコピー、バージョン、クローン）を保存するために使用されている測定対象である物理容量（すなわち、ストレージ アレイのデータ効率化後の物理容量）に、メタデータおよびSnapshot™のコピーのさまざまなデータを保存するために使用されている物理容量と、厚くプロビジョニングされた物理容量を加えた量として、PSLIごとに計算される。

- ii. **データストレージ タイプ：オブジェクト。** 消費容量は、構成済みの情報ライフサイクル管理（ILM）ポリシーに基づくすべてのノード上のあらゆる内容および種類のエンドユーザ データを保存するために使用されている測定対象の物理容量として計算される。

- iii. **Cloud Volumes ONTAP**：消費容量は、CVOのすべてのボリュームの測定対象であるプロビジョニング済み論理容量として計算される。

- iv. **データストレージ タイプ：AFX。** 消費容量は、すべてのインスタンスおよびすべてのタイプのエンドユーザ データ（例：コピー、ミラーされたコピー、バージョン、クローン）を保存するために使用されている測定対象である物理容量（すなわち、ストレージ アレイのデータ効率化後の物理容量）に、メタデータおよびSnapshot™のコピーのさまざまなデータを保存するために使用されている物理容量と、厚くプロビジョニングされた物理容量を加えた量として、AFXクラスタごとに計算される。

c) バースト時の容量

- i. **バースト時の容量の上限** : STaaSサービスは、セクション3.2に定める追加のオプションとともに、PSLIごと、またはAFXクラスタごとに、コミット済み容量の20%に相当するデフォルトのバースト時の容量の上限提供しています。
- ii. **バースト時の料金** : バースト時の容量の使用分は、選択済みのDSTおよびPSLに応する所定のコミット済み容量料金に基づいて請求される。
- iii. **バースト無課金期間** : STaaSサービスでは、開始日から60日間をバースト無課金期間としている。

2.3 サービス レベル

(a) パフォーマンス サービス レベル

(i) ユニファイド

データ ストレージ タイプ [*]	ユニファイド (ONTAP)			
対応しているプロトコル	FC, iSCSI, NFS, NFSv4/DRMA, NVMe/FC, NVMe/TCP, SMB, S3			
パフォーマンス サービス レベル (PSL)[「H/Aペア」ごとのすべての仕様)	Extreme	Premium	Standard	Value
ワークロードの例	AI/ML, HPC, InMem DB	Analytics, EDA OLTP	OLAP, IoT、コンテナ	バックアップ、アーカイブ
90 th パーセンタイルのレイテンシの目標値	1ミリ秒以下	1ミリ秒以下	4ミリ秒以下	4ミリ秒超
最大IOPSの目標 ^{* **}	1M	550K	250K	N/A
最大GBpsの目標 ^{* **}	40	20	10	N/A
プラットフォーム	AFF Aシリーズ		AFF Cシリーズ	FAS
最小コミット済み容量	50TiB		100TiB	100TiB
コミット済み容量の増量単位	25TiB			
コミット済み容量と測定対象容量の種類	論理容量または物理容量			

*相互に排他的な目標。さまざまな要因 (OSバージョン、HWワークロード タイプ、および同時性など) に基づいて実際のパフォーマンス。

**IOPS : ONTAP9.16.1、NFS、ランダム、70%R/20%W、8Kブロック サイズ、1msのレイテンシ (Standardで4ms)。スループット : ONTAP9.9.16.1、NFS、シーケンシャル、100%R、32Kブロック サイズ。

(ii) ブロック向けに最適化済み

データ ストレージ タイプ [*]	ブロック向けに最適化済み		
対応しているプロトコル	NVMe/TCP, NVMe/FC, FC, iSCSI		
パフォーマンス サービス レベル (PSL)[「H/Aペア」ごとのすべての仕様)	Extreme	Premium	Standard
ワークロードの例	SAP HANA、Oracle、MS SQL Server、EPIC		
90 th パーセンタイルのレイテンシの目標値	1ミリ秒以下	1ミリ秒以下	4ミリ秒以下
最大IOPSの目標 ^{* **}	850K	450K	120K
最大GBpsの目標 ^{* **}	65	25	6
プラットフォーム	ASA Aシリーズ		ASA Cシリーズ
最小コミット済み容量	50TiB		100TiB
コミット済み容量の増量単位	25TiB		25TiB
コミット済み容量と測定対象容量の種類	論理容量または物理容量		

*相互に排他の的な目標。さまざまな要因 (OSバージョン、HWワークロード タイプ、および同時性など) に基づいて実際のパフォーマンス。

**IOPS : ONTAP9.16.1、FCP、ランダム、70%R/20%W、8Kブロック サイズ、1msのレイテンシ (Standardで4ms)。スループット : ONTAP9.9.16.1、FCP、シーケンシャル、100%R、32Kブロック サイズ。

(iii) オブジェクト

データ ストレージ タイプ	オブジェクト (StorageGrid)	
対応しているプロトコル	S3	
パフォーマンス サービス レベル	Standard	Value
プラットフォーム	SGF6112	SG6160
注文ごとの最小コミット済み容量	200TiB	500TiB
コミット済み容量の増量単位	25TiB	100TiB
コミット済み容量と測定対象容量の種類	物理容量	

(iv) Cloud Volumes ONTAP

データストレージタイプ	Cloud Volumes ONTAP
対応しているプロトコル	NFS、CIFS、iSCSI、S3* (*はAWSとAzureのときのみ)
プラットフォーム	CVO
注文ごとの最小コミット済み容量	4TiB
容量の増量単位	1TiB
コミット済み容量と測定対象容量の種類	論理容量

(v) AFX

データストレージタイプ	AFX (ONTAP)
対応しているプロトコル	NFSv3、NFSv4/RDMA、pNFS、SMB、S3
パフォーマンスサービスレベル (PSLI[1つのAFXストレージコントローラごとのすべての仕様])	Extreme
ワーカロードの例	AI/ML、HPC、InMemDB
90 th パーセンタイルのレイテンシの目標値	1ミリ秒以下
最大IOPSの目標* **	625K
最大GBpsの目標* **	20
プラットフォーム	AFX
最小コミット済み容量 (AFXクラスタごと)	200TiB
コミット済み容量の増量単位	100TiB
コミット済み容量と測定対象容量の種類	物理容量

*相互に排他的な目標。さまざまな要因 (OSバージョン、HWワーカロードタイプ、および同時性など) に基づいて実際のパフォーマンス。

**IOPS : ONTAP9.18.1、NFSv4、ランダム、70%R/30%W、4Kブロックサイズ。スループット : ONTAP9.18.1、NFSv4、シーケンシャル、100%R、64Kブロックサイズ。

(b) サービスレベル目標 (SLO)

- (i) **可用性のSLO** : ユニファイドとブロック向けに最適化済みの場合はPSLIごと、またはAFXストレージコントローラごとにサービスの可用性の目標は99.999%。サービスレベルアグリーメント(SLA)は適格な注文においては締結可能。
- (ii) **パフォーマンスのSLO** : ユニファイド(「Value」PSLは含まない)、ブロック向けに最適化済み、およびAFX DSTの最大IOPSの目標までについては、PSLIごとに90パーセンタイルレイテンシの目標。サービスレベルアグリーメント(SLA)は適格な注文においては締結可能。
- (iii) **サービスパートの配送および交換のSLO** : 時間のニーズに対する配送時間(4時間)およびオンサイト交換の目標は、地域的に可能である場合に、Keystoneサポートが決定する。
- (iv) **持続可能性に関するSLO** : ユニファイド(「Value」PSLは含まない)およびブロック向けに最適化されたDSTまたはAFXクラスタについては、PSLIを提供するために導入されたSTaaS製品の最大ワット数までの消費電力。サービスレベルアグリーメント(SLA)は適格な注文においては締結可能。
- (v) **テクニカルサポートのSLO** : サービス説明補遺で定めるとおり、Keystoneサポートが割り当てたインシデント優先度に基づいて、Keystoneサポートがインシデントチケットを受理した後の応答時間(TTR)目標。

2.4 機能 :

- a) ユニファイドおよびAFXのストレージDSTには、STaaS製品上のすべてのONTAP One機能の使用が含まれる。
- b) ブロック向けに最適化されたDSTには、STaaS製品上のすべてのONTAP One for SAN機能の使用が含まれる。
- c) データタイプ「オブジェクトストレージ」には、STaaS製品上のすべてのStorageGRID機能の使用が含まれる。

2.5 本サービス :

STaaSサービスには以下のサービスが含まれる。これらのサービスは、NetAppまたはNetAppが許可したパートナーもしくは下請業者(該当する方)が実施する。

- a) **STaaS製品** : STaaSサービスを提供するために必要なSTaaS製品(STaaS製品用の電源コードおよびSR-SFPおよびSTaaS製品間のネットワークケーブルの配線を含む)を区分、選択、および提供する。
- b) **サイトの要件** : エンドユーザのサイトでの準備要件を定める。
- c) **出荷** : STaaS製品の初回出荷および最終返却に対応する。

- d) **インストール** : 最初のSTaaS製品、ならびにSTaaS製品のアドオンおよびアップデートをインストールする。
- e) **アクティブ化** : 監視、測定、請求、サポートを有効にし、STaaSサービスを使用可能にする。
- f) **測定/監視** : 監視ツールを使用して、STaaS製品およびSTaaSサービスの容量使用分の測定、基本的な健全性とパフォーマンスの監視を実施する。
- g) **レポート** : 監視ツールを通じて、または各請求書とともに、容量レポートを提供する。
- h) **通知** : STaaSサービスの提供または利用に影響が及ぶ可能性がある基本的なインシデントを監視ツールを通じてエンドユーザーに通知する。
- i) **テクニカル サポート** : Eメールまたは電話でテクニカル サポートを提供する。
- j) **サイトへの部品配送、またはサイトでの交換もしくはサポート** : 必要に応じて、エンドユーザの拠点に対する部品の配送もしくは認定エンジニアの派遣またはその両方を行う。
- k) **容量、健全性、パフォーマンスの管理** : STaaSサービスを提供するためにSTaaS製品を管理する。
- l) **更新** : エンドユーザと調整のうえ、STaaSサービスに必要なアップデートおよびパッチを特定、計画、およびインストール（オプション）する。
- m) **返却** : サブスクリプション期間の満了時に、（必要に応じて）梱包材を提供し、STaaS製品を取り外してNetAppへの返却を手配し、NetAppの施設への返却時に媒体をサニタイズしてSTaaS製品を工場出荷時の設定に戻す。

2.6 Keystoneサクセス マネジメント :

STaaSサービスには、リモート型のKeystoneサクセス マネジメント（以下「KSM」）サービスが含まれている。KSMサービスは現地の営業時間中に利用でき、提供するものは以下のとおりである。

- a) 必要に応じて、STaaSサービス固有の電話での確認を実施する。確認内容には以下のものが含まれることがある。
 - i. STaaSサービスに関する一般的な質問。
 - ii. サブスクリプションの消費状況および計画。
 - iii. STaaS製品のメンテナンスおよびアップデートの計画。
 - iv. 請求書の確認。
 - v. インシデント。
- b) STaaSのエスカレーション管理。

3. STaaS追加サービス

以下のオプション サービスまたは必須のサービス（そのように記載されている場合）（それぞれを「**STaaS追加サービス**」）が追加料金を支払うことで利用できる。

3.1 高度なデータ保護 (ADP) :

- a) 対応しているユニファイドDSTのみ、AFFストレージ アレイ上のMetroCluster™ IP同期ミラーリング機能を提供する。
- b) 以下のSTaaS追加サービスの注文が必要である。
 - ネットワーキング（スイッチが必要な場合）。
 - Keystone補完サービス（MetroCluster IPの設計サービスまたはデプロイメント サービスが必要な場合）。

3.2 バースト時の容量の上限 :

- a) コミット済み容量の40%または60%のバースト時の容量の上限のものから選別したものを提供する。
- b) ユニファイドおよびブロック向けに最適化されたDSTのみにおいて対応している。

3.3 Keystone用のデータインフラ インサイト (DII) :

- c) KeystoneインフラのみのためのDIIライセンスを提供する。

3.4 NetApp以外のターゲットへのデータ階層化 :

- a) 対象になっているNetApp以外のデータストレージ ターゲットにFabricPoolデータ階層化を提供する。
- b) ユニファイドDSTでのみ対応している。

3.5 高速なアクティブ化（最初の請求に1回課金される） :

- a) STaaSサービスの高速な取り扱い、提供、インストール、およびアクティブ化を提供する。

- 3.6 Keystone補完サービス（提供後の次の請求に課金される）：**
- a) STaaSサービスまたはSTaaS製品向けの追加のリモート サービスもしくはオンサイト サービスまたはその両方を提供する。
- 3.7 ネットワーキング：**
- a) スイッチを提供する（サポート、導入、Keystone製品間の接続のみのためのケーブルと、クラスタ インターコネクト、MetroCluster IP、またはストレージ ネットワーキングのみのために提供するスイッチ用のショート レンジSFPを含む）。
 - b) または、1つのStorageGRIDサービス アプライアンス（サポートおよび導入を含む）を提供する。
 - c) AFX DSTでは該当しない。
- 3.8 ドライブ返却不要（NRD）：**
- a) エンドユーザがサブスクリプション期間中に交換済みの壊れた媒体を保持できるようにするために提供する。
- 3.9 返却不要の不揮発性コンポーネント（NR-NVC）：**
- a) お客様がサブスクリプション期間中に交換済みの壊れた媒体を保持できるようにするためにオプションを提供する。
 - b) サブスクリプション期間の満了時に、機能している不揮発性メモリのコンポーネントをお客様が保持できるようにするためにオプションを提供する。
 - c) 不揮発性コンポーネントには、お客様のデータが保存されており、電源との接続の解除、電池の取り外し、またはNetAppが提供したファームウェアもしくはソフトウェアのコマンドの実行によって中身を消去またはサニタイズすることができないストレージ メディア（ハード ドライブおよびSSD）と不揮発性メモリのコンポーネントが含まれる。
- 3.10 物理容量の測定：**
- a) ユニファイドDSTおよびブロック向けに最適化されたDSTにおいて、物理容量に基づく消費状況の測定のために提供する。
 - b) ONTAPバージョン9.14.1以上が必要である。
- 3.11 米国市民によるサポート（USCS）：**
- a) （地理的に可能な場合に）米国内において米国市民がインストール サービス、部品の交換サービス、サポート サービス、およびKSMサービスを提供する。

4. 注文

4.1 注文の種類：

STaaSサービスには、変更不可能な2種類の注文がある。

- a) オンプレミス型サービス。
- b) ハイブリッド クラウド サービス：

4.2 サブスクリプション期間：

- a) STaaSオンプレミス型サービスの期間は最長で5年間とする。
- b) STaaSハイブリッド クラウド サービスの期間は最長で3年間とし、オンプレミス型サービスおよびCVOの提供が同時に終了する。

4.3 開始日：

サブスクリプション期間が開始し、料金の発生が開始する日で、次のいずれかのうち、早く到来する日。

- a) STaaSサービスがアクティブ化され、使用可能になった旨をNetAppがエンドユーザに通知した日。
- b) （NetAppが判断したとおりに、エンドユーザ側の遅れによりSTaaS製品の出荷から30日以内にSTaaSサービスをアクティブ化できない場合に） STaaS製品の出荷日から30日後。

5. 料金

5.1 容量レポート：

NetAppは、容量レポートを使用して、STaaSサービスの対価用の各請求書に基づいて支払われるべき料金を計算する。かかる容量レポートに重大な誤りがあることをエンドユーザが証明できないかぎり、かかる容量レポートは、該当する請求期間中にエンドユーザが使用した消費容量の最終的かつ決定的な概要が記載されているとみなされる。

5.2 最小支払い額：

各注文には、その注文で特定されている該当する請求期間中に支払うべき最小支払い額が適用される。

5.3 ハイブリッド クラウド サービス :

- a) ハイブリッド クラウド サービスの最小支払い額には、すべてのCVOボリュームの測定対象であるプロビジョニング済み容量の量に基づく金額が含まれることがある。
- b) ハイブリッド クラウド サービスの対価としてエンドユーザが支払うべき料金には、AWS、Azureなどのクラウド サービス プロバイダの料金は含まれておらず、当該料金はエンドユーザが支払わなければならない。また、CVOの使用期間と同一の期間にわたりクラウド サービスへの接続を維持しなければならない。

5.4 料金総額 :

1請求期間について支払うべき料金の総額は、各請求期間ごとに決定し、最小支払い額、セクション2.2に記載されているバースト時の容量に対する従量制の使用追加料金もしくは固定料金またはその両方が含まれる。

6. 請求方法

1請求期間に対して支払うべき料金は単一の請求書に記載され、当該料金の内訳が明記される。エンドユーザに対する請求は、注文において選択された請求期間に従って行われる。

- a) **月額、後払い**（オンプレミス型サービスまたはハイブリッド クラウド サービスに適用される）。
 - 開始日が1日でない場合、最初および最後の月の請求額は日単位で按分されることがある。
- b) **年額、前払い**（オンプレミス型サービスにのみ適用される）。
- c) **四半期ごと、前払い**（オンプレミス型サービスにのみ適用される）。
- d) **半年ごと、前払い**（オンプレミス型サービスにのみ適用される）。

7. サブスクリプションの変更

7.1 コミット済み容量の増量 :

- a) サブスクリプション期間の満了予定日の90日前までに、エンドユーザは、既存のPSLIまたはAFXクラスタのコミット済み容量をセクション2.3(a)に明記されている分、増量させることを要求することができる。
- b) コミット済み容量の増量分のアクティベーションがエンドユーザに通知されると、増量はサブスクリプション期間の残りの期間において有効であり続け、この増量を反映するように最小支払い額が改定される。
- c) エンドユーザが事前請求を選択した場合、NetAppは、その時点の請求期間の残りの期間分としてエンドユーザが支払うべき最小支払い額の按分済み増額分をエンドユーザにすみやかに請求する。

7.2 コミット済み容量の減量 :

Keystoneオンプレミス型サービスの場合のみ、次のとおりとする。エンドユーザが選択したサブスクリプション期間が24カ月以上である場合、エンドユーザは、サービス説明の補遺に定める容量減量および最小支払い額に対する特定の制限に従うことを条件として、コミット済み容量を減量することができる。

7.3 再割り当て :

- a) ハイブリッド クラウド サービスのみにおいて、エンドユーザは、四半期ごとにオンプレミス型サービスの支出をCVOの支出に再割り当てすることができる（その時点での年間契約額の最大25%まで）。
- b) 再割り当て後の注文ごとのオンプレミス型サービスの月次最小支払い額は、16,666ドル（または米国の通貨建てのこれと同等の額）を上回らなくてはならない。

8. 監視ツール

STaaSサービスには次の項目の完全かつ継続的なイネーブルメントが必要である。

- a) 日次で使用状況の情報を送信するように構成された、各ストレージ アレイまたはAFXストレージ コントローラ上のNetApp ONTAP AutoSupport® (ASUP)。
- b) エンドユーザがエンドユーザの拠点において提供および管理するVM上の監視ツール。

9. エンドユーザの責任

9.1 管理および運用 :

エンドユーザは、STaaS製品の管理および運用に対する責任を負う。なお、かかる管理および運用には次の事項が含まれるが、これらに限定されない。

- a) ONTAPまたはStorageGRIDの機能の構成、使用、運用、および管理。
- b) ONTAPまたはStorageGRIDの機能を使用したことによるストレージ アレイの容量およびリソースの消費。
- c) ONTAPデータSVMの構成。
- d) エンドユーザ固有のパッチの識別およびインストール。
- e) ストレージ プロビジョニング。
- f) サブスクリプション期間中の機器の移動（通知した後およびNetAppの承認を得たとき）。
- g) STaaS製品のレポートまたは監視の強化。

9.2 データの保護、セキュリティ、および管理 :

エンドユーザは、次の項目の設計、構成、管理、および保守に対する責任を負う。

- a) 物理的セキュリティ、ネットワーク セキュリティ、アクセス セキュリティ。
- b) 保存中データと転送中データの暗号化。
- c) エンドユーザ データのバックアップとリカバリおよびビジネス継続性/ディザスター カバリのすべての側面。
- d) STaaSサービスとエンドユーザの環境もしくはアプリケーションとの統合およびSTaaSサービスの自動化、またはこれらのいずれか一方。
- e) エンドユーザに適用される業界または行政機関のコンプライアンス要件の遵守。
- f) STaaS製品を移行先または移行元とするデータ移行。

9.3 サブスクリプションの期間満了、取り消し、終了 :

NetAppは、サブスクリプション期間終了後のSTaaS製品上のエンドユーザ データへのアクセス、ならびにかかるエンドユーザ データの可用性および紛失に対する責任を負わない。サブスクリプション期間満了時までにエンドユーザが果たすべき義務は以下のとおりである。

- a) STaaSサービスの使用中止。
- b) （エンドユーザが必要とする場合）メディアのバックアップ、移行、削除、およびサニタイズ（ただし、メディアを使用不可能な状態にはしない）、またはこれらの一部。
- c) STaaSサービスを非アクティブ化できないことをNetAppに通知し、非アクティブ化する日を設定すること（サブスクリプション期間の終了から15日以内）。
- d) 返却時の集荷のために梱包済みの物品をエンドユーザの出荷エリアに輸送すること。
- e) STaaSサービスからエンドユーザのデータを転送することに関連するすべての作業、ハードウェア、ソフトウェア、またはサービスは、STaaSサービスおよび料金の一部には含まれない。
- f) エンドユーザは、NetAppの承認を得ていることを条件として、サービスからエンドユーザのデータを秩序立てて転送するという明確な目的のために、サブスクリプション期間の終了後もSTaaSサービスの利用を延長することができる。また、以下の条件を適用する。
 - i. エンドユーザは、その時点のサブスクリプション期間が満了する日の少なくとも90日前までにNetAppに対し書面で要求する必要がある。
 - ii. 日単位で按分した料金にて、1暦月の期間が認められる。